とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	あそか保育園
日時	令和７年度８月17日

1，活動テーマ

＜テーマ＞

2歳児・・・氷の中の草や花を見たり触れたりして遊ぼう。

＜テーマ設定理由＞

・先月葉っぱで色々な遊びを楽しんだので、引き続き葉っぱや花などの遊びを楽しみたいと思い、夏らしく氷の中に入れたら楽しめると感じた為。

2，活動スケジュール

・氷に触れたり中の草花を見て楽しむ。

3，活動のために準備した素材や道具、環境設定

・氷（中に花や葉っぱを入れて凍らせたもの）　・タライ
・ブルーシート　・バット

4，探究活動の実践

＜活動内容＞

・タライに氷を用意し見たり触れたりする。
・溶けていき中の草花が露わになる様子を楽しむ。
・出てきた草花をバットに並べ見たり触れたりする。
・溶け切らなかった氷をバットに並べ時間と共に溶けていく様子を観察する。

＜活動中の子どもの姿、声、子ども同士や保育者との関わり＞

〈氷に触れる〉

子ども：「冷たい！」
保育士：「中に入ってるの何だろう」
子ども：「わからない」「みかんかな」
保育士：「なでなでしたら見えるかも」
子ども：「なでなで」「見えないね」

〈氷が溶けてくると〉

初めは何かわからない子もいたが、氷が溶けてきて中が見え始めると草花が入っていることに気が付き始めた。
子ども：「何か出てきたよ」
子ども：「葉っぱが入ってる！」
子ども：「お花がうまれた！」

手のひらに乗せたりちぎったりしてじっくりと観察していた。

〈バットに並べて観察する〉

子ども：「黄色のお花かわいい」
子ども：「恐竜のご飯にしよう」
溶けた水に浮かんでいる草花をつついたり恐竜のフィギュアと葉っぱで見立て遊びを楽しむ子もいた。

5，振り返り

＜振り返りによって得た保育士の気づき＞

初めは氷の気泡などで中がよく見えなかったが、それによって中の物が気になり溶けるのを楽しみにする子もいた。また時間がたち中が見えるようになると「可愛い」「綺麗」と話す子もいて、見た目から感じる感性も豊かになってきているのだと感じた。身近な自然物でも氷の中に入っているだけでこんなにもじっくり楽しめるようになるのだと感じ、子どもが興味を持てるような工夫、環境設定の大切さを感じた。氷が溶けるものだということをわかっているからこそ楽しめた活動だと感じる。草花以外の自然物でも楽しめる活動だと思う。